

令和3年度 府立園部高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)(計画段階 ・ 実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果(○)と課題(▼)	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p><b>【教育方針】</b>            ※真理を求め正義を愛する心身の健全な人となること(健全)            ※進取敢為の性と明朗闊達の風とをもつ人になること(明朗)            ※敬愛と誠実の心をもって社会に生きる人となること(誠実)  <b>【教育目標】</b>            Global&amp;Aware(世界へ、思いやりをもって)            『自主的・主体的に物事を考え、自らの意見が言える生徒、人とコミュニケーションがとれる生徒の育成』  <b>【教育指導の重点】</b>            1 中高一貫教育の充実            2 特色ある学校づくりの推進            3 学力の充実と進路希望の実現            4 生徒指導の徹底            5 人権教育及び道徳教育の推進            6 国際理解教育の推進            7 教育相談及び特別支援教育の推進</p>	<p><b>【成果】</b>            ○コロナ禍の中行事等を精選しながら、教育活動を進めることができた。            ○ICTを活用した授業に取り組めた。            ○生徒の主体性、コミュニケーション能力を養うため、今年度も英語によるレシテーション・スピーチコンテストやポスターセッション等での課題発表を充実することができた。            ○中高一貫コースでは、従来の「Creation」を踏襲し「理系課題研究」をより進めた。            ○普通科では、総合的な探究の時間を「Global Thinking」として「探究の基礎」を教え内容は「質問の作り方(QFT)」や「哲学対話」を通して、様々なことに疑問を持ち、それを深く思考する手法、態度を身につけた。            ○新型コロナウイルス感染症感染防止のための対策を学校全体で取り組めた。  <b>【課題】</b>            ▼中学生向けのポスター、動画を作成し、広報活動の充実を図ったが、志願者数に結び付いていない。より一層の広報活動の工夫が必要である。            ▼年度当初から学校説明会を計画したが、コロナのため中止になった。</p>	<p><b>【育てたい生徒像】</b>            『自主的・主体的に物事を考え、自らの意見が言える生徒、人の気持ちにたって、人に接することができる生徒の育成』            1 充実した学校生活            (1) 面白い授業及び学習意欲・学力の向上へ向けた取組の改善と検証            (2) 損得ではなく善悪で判断できる生徒を育てる指導の推進            (3) 健康・安全の保持と自己管理できる力の育成と様々な生徒のニーズに対応できる居場所の確保            (4) 安心・安全を感じられるホームルームと信頼できる担任・教職員との関係の構築            2 信頼・安心できる学校            (1) 積極的な情報公開・情報交換により正確な情報を共有し、連携して指導できる体制の強化            (2) 双方相手の顔を見える連携の推進            3 学校の様子と方向性の発信            (1) 様々な学校教育活動がみえる広報の展開            (2) 学校の方向性が見える広報の展開            4 やりがいのある職場            (1) お互い助け合える体制の強化            (2) 夢が語れる、連帯感のある、譲り合える職場づくり            5 その他            (1) 情報管理の徹底            (2) 魅力ある学校をアピールして、志願者数の増加を目指す</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	中間	評価	成果と課題 次年度に向けての改善点
組織・運営	中高一貫教育の充実	高等学校と附属中学校がさらに連携を深め、6年間を通じた指導計画及び指導体制のもと教育内容を充実させ、附属中学校の志願者増を目指す。			
	特色ある学校づくりの推進	パンフレット、ポスター、ホームページ、For the FUTURE、学校説明会等を十分に活用して、園部高校の魅力ある情報を発信し、募集定員を満たす。			
	国際理解教育の推進	国際交流企画を最大限実現させると共に姉妹校協定等による海外交流校との関係強化を推進する。			
学習支援	基本的学習習慣の定着	予習・授業・復習等、日々の学習を通して家庭学習や自主学習の習慣を身につけさせ、継続させる。			
	「確かな学力」を育む取組	学科・コースの特色に応じた課題を設定し、言語活動を充実させるとともに、コミュニケーション能力の向上を図り主体的に学習に向かう姿勢を養う。			
	新学習指導要領に即した授業改善	Global Thinking等、総合的な探究の時間を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた言語活動・探求活動を推進する。			
	ICT教育の充実	タブレットやホームルーム教室に常設されている液晶プロジェクタ等を活用し、「おもしろく、わかりやすい授業」を実践する。			

評価領域	重点目標	具体的方策	中間	評価	成果と課題	次年度に向けての改善点
生徒支援	基本的な生活習慣の確立	朝の遅刻や無断欠課をなくし、落ち着いて授業を受けられる環境をつくる。				
	生徒指導の徹底	問題事象や問題行動の未然防止と早期発見・早期対処ができるよう教職員の指導体制づくりを進め、適切な指導を行う。				
	教育相談・特別支援教育の推進	定期的に相談・調整の場を設け、必要に応じて積極的に外部機関と連携し、支援が円滑かつ効果的に進むよう努める。				
進路支援	学科・コースの特色を踏まえ、個に応じた適切な進路支援	一時的な興味や関心にとらわれず、社会と自己を結び付けた進路選択ができるよう、その実現を図る支援を充実させる。				
	生徒の主体的な行動を促す進路支援	生徒が自らの進路を主体的に選択し、進路実現に向かう意識を持って努力できるような環境をつくる。				
	高大接続、新入試制度研究の継続	今後も変化する入試制度や高大接続が円滑に進むよう最新の情報収集を行い、生徒・保護者に発信する。				
人権教育	人権教育の推進	人権に関する昨今の動向及び本校の実態を踏まえつつ、人権学習の充実と教職員等の認識深化及び人権教育に関する実践力・指導力向上を図る。				
	人権意識の高揚	すべての教育活動を通して、人権を尊重する心を育む。				
図書館活用	生徒・教師が活用しやすい環境設定	授業・調べ学習・学校行事等で活用できる資料の収集と提供を行う。図書活用を促す図書資料の紹介広報に努める。				
健康・安全教育	健康教育の充実	本校生徒の健康課題(体の健康と心の健康)に応じた健康教育を推進する。				
	徹底した感染症対策	感染症に関する正しい知識を共有し、教育活動のあらゆる場面で注意喚起をおこない、クラスターの発生を起こさないよう努める。				
管理	企画、立案及び連絡調整	効果的な学校運営を行うよう企画、立案を行い、適時、適切な予算執行を行う。				
	財務及び会計	費用対効果を意識した予算執行体制の確保及び職員相互のチェック・確認体制の確立する。				
	学校環境の整備	老朽校舎の改善対策と、必要な備品の充実に向けた対策を行い、実行する。				
家庭・地域連携	家庭や地域社会との連携の強化	家庭・地域社会との適切な連携に努めると共に、小高・中高・高大連携の充実を図る。				
学習環境安全管理	安心・安全で充実した教育活動のための施設設備の充実	校舎や設備の安全を確保し、生徒の学習環境の向上に繋がる施設設備の充実を図る。				
学校評価委員会による評価						
次年度に向けた改善の方向性						